

# 農業

平成24年5月号  
会誌 No. 1559



## 目次

### 巻頭言

「小さな大学校」の閉校……………染 英昭 3

### 論壇

「技術」が「科学」を超えたとき……………難波 成任 4

### 農業懇話会

農業と市町村行政……………白井 英男 6

- 喜多方市長12年の体験から -
- 行財政改革に取り組む
- グリーンツーリズムの推進
- 喜多方ラーメンの原料を地元で
- 土木業者の農業参入
- 農産物を輸出しよう
- 小学校の授業に農業科を導入
- 新しい観光の振興
- 海外からの研修生受け入れ

### 地域農業交流セミナー

高度化する農業技術（機械・情報）と大規模先進農業への活用（Ⅱ）… 23

- トラクタ・作業機の通信制御システムや GPS ガイダンスシステム導入を中心に -

#### 研究報告

稲麦大豆等土地利用型農業における自動農作業体系化技術の

開発……………石井 一暢 23

農業機械におけるシンプル化と情報化・高度化を両立する通信

制御共通技術の開発	濱田 安之	29
先端技術の営農利用と営農視点から見た研究開発への提言	馬渡 智昭	34
総合討論		
大規模農業を支える農業機械・先端技術の研究開発戦略とは		40

### 農事功績者座談会

日本一の輪ギク産地の持続的発展をめざして		52
私の経営と農業への思い	間瀬 利哉	52
現地指導者のコメント	伊藤 健二	57
質疑・討論		61

### 農業・農村の現場から

農山村の未来を有機農業に求めて	大澤 忠和	75
- 京都市南丹市・美山有機農業推進協議会の取り組みはその答えとなるか!?-		

### 世界の農業は今

スリランカのため池農業と気候変動への適応	岡 直子	81
----------------------	------	----

農政情報		85
------	--	----

大日本農会だより		86
----------	--	----

ミニ情報「農山漁村の6次産業化を推進」		22
---------------------	--	----

#### 表紙写真説明

#### 二人に応援花（神奈川県横浜市）

この写真は、わが国の市町村で最大の人口、369万人（平成24年4月1日現在）を擁する横浜市の農業地域での風景である。「キャベツ畑の向こうにランドマークタワーが見える」横浜なのだが、わが国の代表的な港湾都市のひとつで、工業都市のイメージが強い。この横浜市の農業は、県内最大の市面積を擁するため、都市近郊農業として、野菜だけではなく、果樹、花き、植木、畜産と非常に多種類の農産物がつくられており、平成18年度の統計では、コマツナは、3,700tで、全国市町村で第2位の生産量を誇っている。また、カリフラワー（全国8位）、キャベツ（同10位）、ホウレンソウ・枝豆（同11位）など収穫量も多い。野菜は市内で6万tがつくられ、そのうち4割が直売等で市場を通さずに売られている。市内にある農産物直売所は、約1,000カ所もあり、地域内での暮らしの大きな役割を担っている。

横浜で農業部門を担当するのは、環境創造局である。市内の農地を保全するためにも地域の人びととの交流を基本にした地産地消を推進し、市内都岡地区（旭区）。田奈（青葉区・緑区）、新治（緑区）、3カ所の「恵みの里」などを指定して推進している。

（写真提供：（社）地域環境資源センター）